

第2章 | 基本構想

本町は、少子化と相まって人口減少が進んでおり、その一方で高齢化が急速に進むことが確実な状況です。その結果、生産年齢人口（15歳から64歳）が大きく減少するなどまちづくりにとって大変厳しい状況にあります。

さらに、成田空港の機能増進や空港と都心を結ぶ新たな鉄道の開通、成田・千葉ニュータウンの業務核都市化の進展、また近隣の市町村が合併するなど、本町を取巻く環境が急速に変貌しています。

その一方で、本町は、利根川、長門川、印旛沼などの恵まれた水辺環境や広がる田園、里山などの自然環境が豊かな町です。また、先人達が築いてきた歴史や文化・伝統が生活に息づくなど、本町は他に引けを取るものではありません。

そうしたことから、町民誰もが、まちを愛し、誇りと愛着を持てるよう、町民の皆さんとともに「住み続けたいまち」「住みやすいまち」づくりに向けた取組を一步一步積み重ね、元気な町を創っていきたいと考えています。

以上のことから、「まちづくりの基本理念」と「将来像」を次のように定めます。

1 まちづくりの基本理念

人が集まりまちができます。まちの活力の源は人です。

本町には、恵まれた自然と先人達が築き今日まで受け継がれてきた歴史と文化があり、これらが人々を惹き付けます。これらを磨き上げるとともに、時代のニーズに対応した新たな魅力を創り出し、そこに暮らす人々が「誇りと愛着のもてるまち」とすることができれば、町民は住み続け、町外からも人が集まり、町は元気になります。

本基本構想では、「誇りと愛着のもてるまち」をまちづくりの基本理念に据え、町民と行政とが知恵と力を出し合いともに協力することにより、将来像の実現を目指します。

誇りと愛着のもてるまち